



ファンドマネージャー 秋野 充成の AKINO REPORT



代表取締役社長 秋野充成

 いちよしアセットマネジメント

FM 今週のポイント（6月30日）

＊先週末（27日）、日経平均株価は5か月ぶりに40000円大台を回復、TOPIXは年初来高値を更新しました。米国市場においても、S&P500、NASDAQ 総合指数は過去最高値を更新しました。突然の強気変調の背景は、イスラエル・イラン戦争の早期停戦（トランプ大統領主導による停戦合意で原油価格が下落、インフレ懸念が和らいだ）、トランプ関税の緩和（26日にレビット大統領報道官は7月9日に迫る相互関税の国別上乘せ部分の再開について猶予期限延長を示唆。26日にベッセント財務長官は、「報復税」と呼ばれる内国歳入報899条の新設見送りを要請。26日にラトニック商務長官は米中両国が貿易交渉合意文書に署名したことを明らかにし、中国政府は焦点となっているレアアースの輸出に向けた審査や承認を迅速に行う姿勢を示した）、FRBの早期利下げ観測（FRBのボウマン副議長は23日、「インフレ圧力が抑えられていれば次回会合にでも利下げを支持する」と発言した。ボウマン氏はFOMCのメンバーの中でも特に利下げに慎重な「タカ派」とされていたため、市場関係者からは大きな方針転換と受け止められた。20日にはウォラー理事も「早ければ7月にも利下げできる」と述べていた。FedWatchによると、7月FOMCで利下げが再開される確率は27日時点で18.6%、9月FOMCまでに利下げが再開される確率は93.0%、2025年の利下げ回数が3回となる確率は48.1%、2回となる確率34.4%となっている）。

＊日本株の上昇（日経平均株価は24日から27日までの4日間で約1800円上昇：4.7%）は需給的要因も大きいと考えられます。先週だけで3月本決算企業の配当支払いが4.3兆円強、6月30日に1.9兆円に上るため、再投資への期待が膨らんだものと思われます。また、6月27日のハイベータ投信設定（1,523億円）を意識して、高ベータ株のアウトパフォーマンスが目立っていました。好需給のピークは過ぎつつあると思われ、7月初旬は想定外の下落に注意する必要があります（7月上旬にETF分配金支払いが集中する：1.5兆円前後の売り圧力が意識されやすい）。またバリュエーション的にも日本株の割安感が低下しています（TOPIX12か月先予想PERが4月上旬の12倍台から6月後半に15倍台前半、PBRは4月上旬の1.1倍から6月後半に1.4倍弱、予想配当利回りが4月上旬の3.0%から6月後半に2.45%）。トランプ関税の影響が懸念される1Q決算も気になるところです（ドル円相場の水準もポイント）。

＊想定外の日経平均株価40000円台回復でしたが、このまま最高値更新に向かうとは考えていません。不確実性の拡大の中でのリスクオンであり、長期的には上昇基調が続くと思いますが、ボラタイルな状況であることは間違いありません。当面は日経平均株価38000円から41000円を想定しています。米国株式市場で大型テック、半導体株が強く、日経平均株価も好影響を受けていますが、ハイテク株集中度を示す、ナスダック100指数/ラッセル2000指数が10.4倍を超えており、何らかのきっかけで（金利の上昇等）、昨年8月のような大きな下落も有り得る状況です。

『 重要な注意事項 』

- この資料は、市場の現状の説明資料の一部としていちよしアセットマネジメントが作成し、いちよし証券がいちよしアセットマネジメントとの営業代理契約に基づいて提供するものです。未許可での使用、複製の作成や発表は法律で禁じられております。
- この資料は、いちよしアセットマネジメントが信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて同社により作成されたものですが、過去から将来にわたってその正確性、完全性を保証するものではありません。
- この資料は、投資の参考となる情報の提供を目的としたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。
- この資料に掲載されたデータ・グラフ等は過去の実績またはシミュレーションであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。また、記載された見解等の内容はすべて作成時点でのいちよしアセットマネジメントの判断であり、今後予告なく変更されることがあります。
- 投資一任業務による有価証券投資は、株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資運用によって発生する損益はすべてお客様に帰属します。したがって、預貯金とは異なり投資元本が保証されているものではなく、一定の運用成果を保証するものでもありません。

○諸経費および投資リスクについて

- 投資顧問料については、契約資産に対して年金料率で最大0.4536%(税込み)の報酬をいただくこととなります。また、契約により所定の成功報酬をいただく場合があります。その他売買手数料等の間接的な経費がかかりますが、経費の総額については委託した証券会社により手数料率等が異なるため、上限額等を表示することができません。
- お客様のために行う取引については、株式、新株予約権付社債、公社債等の有価証券に投資しますので、国内外の経済・政治情勢、金利変動、発行体の業績や財務状況等の変化の影響により、投資した有価証券の価格が下落し、損失が生じるおそれ(外国証券は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれ)があります。
- 信用取引やデリバティブ取引を行う場合は、差し入れた証拠金等の金額以上の取引を行う可能性があるため、原資産となる有価証券や指数等の価格変動により、差し入れた証拠金等を上回る損失が生じるおそれがあります。また、デリバティブ取引等の額の証拠金等の額に対する比率は投資方針や市場の動向等により変化するため、その比率を事前に示すことができません。
- 諸経費およびリスクについての詳細は、契約締結前交付書面をよくご覧ください。

商 号 等： いちよしアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号
加入協会： 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会